

会 議 録

|              |   |                      |  |
|--------------|---|----------------------|--|
| 会議の名称        | 平成29年度第2回東村山市入札等監視委員会   |                      |  |
| 開催日時         | 平成29年11月20日(月)午後6時30分～8時  |                      |  |
| 開催場所         | 東村山市役所本庁舎6階 第2委員会室  |                      |  |
| 出席者<br>及び欠席者 | <p>●出席者：<br/>         (委員) 藤原卓也委員長、山田務委員(職務代理)、河村文委員<br/>         (市事務局) 荒井副市長、東村総務部長、清水総務部次長、佐藤契約課長、<br/>         長谷川契約係長、小山主事、中村主事</p> <p>●欠席者： 臼井雅子委員</p>  |                      |  |
| 傍聴の可否        | 不可  | 傍聴不可<br>の場合は<br>その理由 | <p>①情報公開条例第6条の法人情報・行政運営情報・意思<br/>         形成過程情報の非公開情報に当たるため</p> <p>②会議を公開することにより、委員の率直な発言と意見<br/>         交換に支障が生じるなど、公正かつ円滑な議事運営が損<br/>         なわれるおそれがあるため</p> |
| 会議次第         | <p>1 開会</p> <p>2 委員長挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 報告事項<br/>         平成29年度上半期工事契約実績等</p> <p>(2) 抽出案件審査</p> <p><b>案件1</b> 条件付き一般競争入札(総合評価方式案件)<br/>         ・市道第470号線1改良工事</p> <p><b>案件2</b> 指名競争入札<br/>         ・都市計画道路3・4・5号線用地管理整備工事(その1)及び<br/>         補償代行工事(その1)</p> <p><b>案件3</b> 特命随意契約<br/>         ・ごみ焼却施設定期点検補修工事</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p> |                      |  |
| 問い合わせ先       | <p>総務部契約課<br/>         担当者名 小山<br/>         電話番号 042-393-5111(内線2322)<br/>         ファックス番号 042-393-6846</p>   |                      |  |

## 会 議 経 過

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 議事

### (1) 報告事項

平成29年度上半期工事契約実績等

- ・入札方法別平成29年度上半期契約課扱い（工事総価）

条件付一般競争入札 3件 - 単純平均落札率95.28%

希望性指名競争入札 3件 - 単純平均落札率94.68%

指名競争入札 26件 - 単純平均落札率91.55%

特命随意契約 5件 - 単純平均落札率99.06%

上半期全案件 37件 - 単純平均落札率93.12%

- ・競争入札における工種別落札率の状況について

落札率は28年度から29年度にかけて下降傾向にある。

### ○主な質疑応答

(なし)

### (2) 抽出案件

案件1

条件付き一般競争入札（総合評価方式）

- ・市道第470号線1改良工事

(概要)

・施行延長：L=183.6m ・車道舗装工：A=1021 m<sup>2</sup> (As35型)、A=60 m<sup>2</sup> (As5型)

・歩道舗装工：A=60 m<sup>2</sup> (透水性5型) ・歩車道境界ブロック工：L=558m

(経過)

・業種 道路舗装工事

・参加資格条件 市内はA～Eランク、市外（北多摩地区に本店）はCランク

・平成29年6月27日に入札公告 7月26日開札

・申込みは、5者

・落札業者 ジェイ建設株式会社

・入札経過 1回目で落札 4者辞退

・総合評価値 技術点10.5+価格点0=総合点10.5

・契約金額 40,824,000円（落札率100%）

○主な質疑応答

- ・総合評価方式の入札であるため予定価格を事前公表しているが、東村山市では、工事の提案を求めるものではないため、事前公表にしなくてもいいのではないか。  
→現状は試行段階であるが、総合評価方式は価格点と技術点の総合評価値で落札者を決めるため、再度入札により1者のみの入札や不落随契となり、価格のみの競争とならないために事前公表としているが、今後検討すべきであると考えている。
- ・要領等で事前公表としているのか  
→総合評価方式に公共工事の入札指針に示されている。
- ・過去3年間の工事成績が出てくるのでその比較もしていただきたい。  
→3年間で7件実施したため、精査し研究していく。

案件2

指名競争入札

- ・都市計画道路3・4・5号線用地管理整備工事（その1）及び補償代行工事（その1）

（概要）

- ・用地管理整備工事一式、補償代行工事一式

（経過）

- ・業種 道路舗装工事
- ・共同格付け Dランク
- ・平成29年4月11日に指名 4月19日開札
- ・申込みは、6者
- ・落札業者 株式会社及川土木
- ・入札経過 1回目で落札 1者辞退
- ・契約金額 10,108,800円（落札率96.96%）
- ・契約変更 As舗装工（10型）の増、構造物壊し工の増
- ・変更後契約金額 11,140,200円

○主な質疑応答

- ・契約変更が多い印象だが、安易に契約変更しないように事前にチェックする方法や制度はないのか。  
→土木工事では、工事ごとに多岐にわたる目的物を現場ごとの自然条件、環境条件のもと施工しなければならない。設計時には埋蔵物の有無や交通状況など予見できない点もあり、工事を実際に施工しなければわからないことが多々ある。設計変更については東京都の工事請負契約設計変更ガイドラインに基づき適正に行っている。
- ・契約変更を行う際の決裁はどのように行うのか。  
→契約変更の必要が生じた際に、元契約と同じ決定権者による決裁を行う。

- ・契約変更を行うことができるルールを設けているのか。

→設けていない

### 案件 3

#### 特命随意契約

- ・ごみ焼却施設定期点検補修工事

(概要)

- ・ごみ焼却施設の点検及び消耗部品交換等の整備・補修を行う

当市の焼却施設は旧日本鋼管－フェルント式三段ストーカーが採用されており、これらはメーカーが保有する特許と関連ノウハウを組み合わせ、当市のごみ処理計画を考慮し、ごみ質や、空気・ガスの流れ、熱灼減量、燃焼温度分布等の詳細データを基に設計、施工されている。また、材料部品は特注品となるものが多く、他社では調達が困難である。それ故設備の補修や更新工事には、建設メーカー以外では施工が困難である。また、焼却施設は、全ての設備が一連の働きをして性能を発揮するものであり、設計思想を理解せずに施工することは、その能力を低下させるだけでなく、重大な故障を引き起こし、ごみ処理の停滞を引き起こすばかりでなく、公害発生リスクも負うことになる。従って、当施設の建設メーカーである JFE エンジニアリング株式会社と地方自治法施行令第 167 条の 2 第 1 項第 2 号により、随意契約を行った。

(経過)

- ・平成 29 年 7 月 11 日に資料配布、7 月 19 日見積書提出
- ・契約相手方 JFE エンジニアリング株式会社
- ・契約金額 85,320,000 円 (落札率 99.66%)
- ・契約変更 投入扉用油圧装置整備の追加、炉用油圧装置用電磁弁交換の追加、金属コンベヤ整備の追加、曝気ブロワ用電動機交換の追加
- ・変更後契約金額 89,802,000 円

#### ○主な質疑応答

- ・ごみ焼却施設はいつ建設したのか。またその後の補修工事はどのように行っているのか。

→建設は、昭和 55 年 1 月に入札を行い、54 年、55 年、56 年度の 3 か年で工事を行った。その後 3 年間のメーカー保証があり、それ以降の 4 年目から定期点検の補修工事を行っている。

- ・契約締結後、3 か月で契約変更を行っているが、修繕は計画的に行っていないのか。

→毎年行っている工事のなかで、前年度の報告書を基に工事箇所を検討しているが、変更点については工事を行って確認された箇所であり、発注時には予見できなかった。

- ・予定価格の決定についてはどのように行っているのか

→材料費等でメーカーの見積を採用するものもあるが、その場合は一定の査定率を掛けて設計額としている。

その他  
(なし)

5 閉会